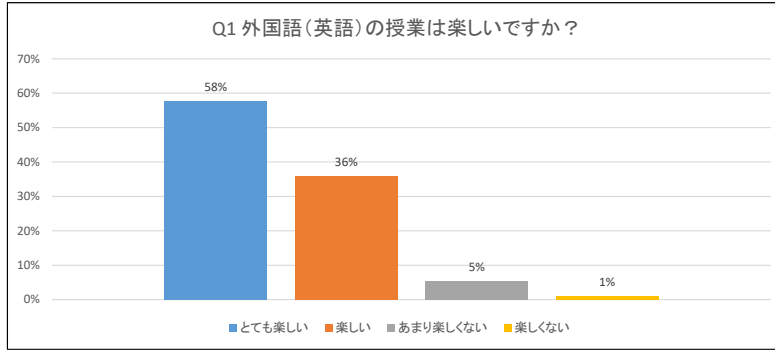
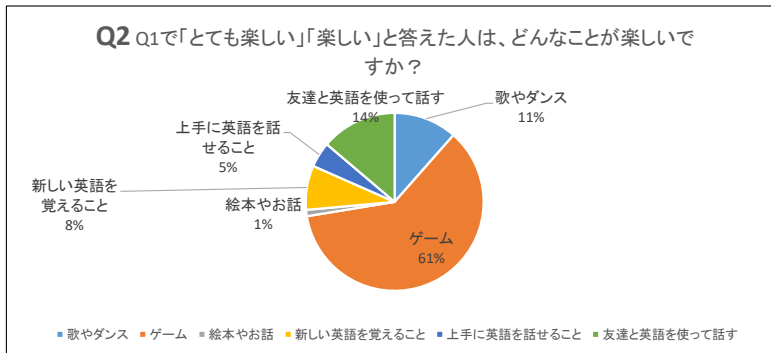


## 令和7年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(小野部田小)



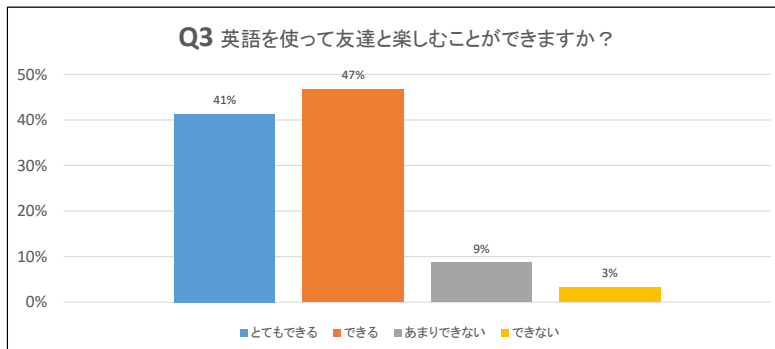
### 【Q1について】

・外国語(英語)の授業に対し、ほとんどの児童が好意的な回答を示し、授業を楽しんでいる様子が受け取れる。日頃より、各担任がALTと連携し楽しい授業づくりに取り組んでいる効果が見られる。今後も、児童の意欲が高まり、外国語(英語)を好きになれるような授業づくりを心掛けていく。



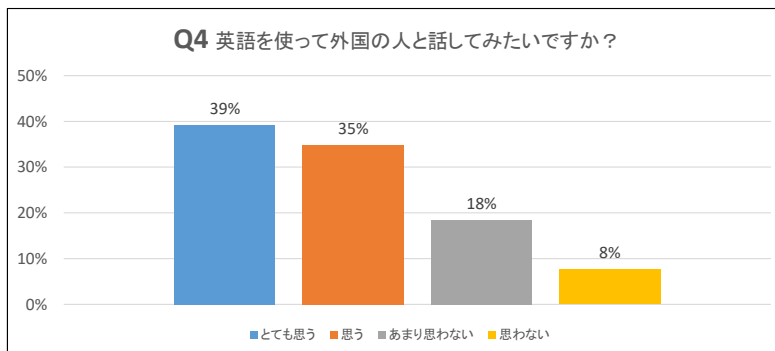
### 【Q2について】

・児童は、英語を用いたアクティブな活動を好む傾向が見られる。このことを参考に授業づくりを心掛けていく。そうすることで前項で述べた「意欲が高まる授業づくり」につながるものと考えられる。  
・同時に、純粋に英語によるコミュニケーションの楽しさを実感している児童も少なくなく、英語を話すことができるようになることへの喜びや期待を感じることができる。



### 【Q3について】

・およそ9割程度の児童が仲間との学習を好意的に受け取っている。母国語以外でのコミュニケーションの楽しさを実感している様子が見られる。  
・一方、1割程度の児童が否定的な回答をしており、その原因を探るとともに、授業改善をしていく必要がある。



### 【Q4について】

・授業に対する好意的な回答と比較すると授業と実践的な外国語(英語)の活用場面とが、つながっていないような結果が見られる。また、経験の少なさからくる「できるだろうか。」と思う不安もあるのではないと思われる。  
・授業では、ALTとのコミュニケーションを十分に確保し、児童が自信や期待が持てるような授業づくりを行っていく必要がある。

### 【保護者・学校関係者からの意見・要望等】

- ・小学校では、英語に興味を持つ、英語を好きになることを授業づくりの中心に考えたい。
- ・試験科目としての「英語」だけでなく、コミュニケーションのための言語の習得につながっていくような活動であってほしい。
- ・中学校で英語の学習につながっていくものであってほしい。
- ・英語専科が配置され、専門性を発揮して授業を行えば、意欲やスキルのさらなる向上につながると考える。

### 【考察・今後の展望等】

- ・児童は、外国語(英語)の授業へ好意的な意識をもって、楽しみながら学習を進めている様子が分かった。外国語(英語)を使ったアクティブな活動を好み、仲間と交流を楽しんでいる。
- ・反面、実際の日常生活等における外国の方々とのコミュニケーション場面での外国語(英語)の活用には難色を示す児童も少なくない。
- ・今後は、このような児童の意欲が高まるような授業づくりや環境づくりを行っていく必要がある。